

検査ニュース

No.124

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「ヘモグロビン A1c (NGSP)」と「検査受託中止」、「麻疹検査」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● ヘモグロビン A1c (HbA1c) (NGSP) (平成 24 年 4 月 1 日 ご依頼分より)

ヘモグロビン A1c の国際標準化 (NGSP) への移行について

日本糖尿病学会より発表された国際標準化に基づき、平成 24 年 4 月 1 日より国際標準値「NGSP 値」のご報告をいたします。

当面は臨床側の混乱を防ぐため、JDS 値 (現行値) と NGSP 値 (国際標準値) を併記いたします。

なお、NGSP 値はフリー項目欄に記載させていただきます。

◎ HbA1c(JDS)から HbA1c(NGSP)への換算式

JDS値 (%)	4.9 % 以下の場合	5.0 ~ 9.9 % の場合	10.0 ~ 14.9 % の場合
NGSP値 (%)	JDS値 + 0.3 %	<u>JDS値 + 0.4 %</u>	JDS値 + 0.5 %

● 検査受託中止項目 (平成 24 年 3 月 30 日 (金) ご依頼分をもって受託中止)

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	備考
75	2587	IGFBP-3	検査試薬製造中止のため
75	2581	抗利尿ホルモン(ADH) (アルギニンバソプレッシン)	検査試薬製造中止のため
53	2341	尿中塩基性フェトプロテイン (尿中BFP)	検査試薬製造中止のため
63	2070	HCVコア抗体価	検査試薬製造中止のため
51	1465	PIVKA-II [ラテックス凝集反応]	検査試薬製造中止のため

● 麻しんの検査診断について

麻疹のIgM抗体検査は麻疹以外の発疹性ウイルス疾患に罹患している場合にも陽性になることがあると指摘されています。

・麻疹 IgM 抗体が陽性になった場合でも麻疹以外の疾患の可能性があります。伝染性紅斑 (パルボウイルス B19 感染)、デング熱、突発性発疹 (HHV6 感染) などでも麻疹 IgM 抗体が弱陽性になる症例が報告されています。そのため、麻疹の診断にはウイルスを直接検出する PCR 検査 (RT-PCR 法)、麻疹 IgG 抗体検査 他による総合的な検査診断が有効です。

- ① RT-PCR によるウイルス遺伝子の検出による診断があります。
- ② 急性期と回復期のペア血清での麻疹 IgG の抗体の有意上昇によって判断できる場合があります。